

(数学) 科 (数学 B) 学習指導案					
日 時	平成 20 年 6 月 11 日(水)第 4 限		指導者	(省略)	
学 級	5 年 1 組		教 室	5 0 1 教 室	
単 元	平面上のベクトル		教科書	新編 数学 B (数研出版)	
単 元 目 標	1 ベクトルの相等および和・差・実数倍などの演算を定義し、線形性に注目させる。 2 ベクトルの 2 方向への分解を取り上げ成分表示などを理解させる。 3 ベクトルの内積と、その計算方法を理解させる。 4 位置ベクトルを導入し、それが平面図形の性質を調べるのに有効であることを認識させる。		指 導 計 画	第 1 節 ベクトルとその演算 …… 1 3 時間 第 2 節 ベクトルと平面図形 1 位置ベクトル …… 2 時間 (本時はその 1) 2 直線のベクトルによる表示 …… 3 時間 3 ベクトルの図形への応用 …… 2 時間 4 問題演習 …… 1 時間	
	主 題	内分点・外分点の位置ベクトル		課 題	1 教科書 p28 ~ 30 を予習する。 2 課題プリントを解いておく。
目 標	1 位置ベクトル $P\left(\frac{-}{p}\right)$ を理解させ、内分点・外分点の位置ベクトルについての公式を定着させる。 2 三角形の銃身の位置ベクトルについて公式を理解させる。				
本 時 の 指 導 展 開 程 序	学 習 内 容		時 間	指 導 上 の 留 意 点 ・ 評 価 の 観 点	資 料 等
	導 入	1 本時の目標を確認する。	5		プリント
		2 課題プリントで、内分点・外分点を復習する。		・ 課題実施状況の確認をする。 (関心・意欲)	
	展 開	1 位置ベクトルを理解し、練習 27 を解く。	10	・ 座標平面における成分表示も併せて考えさせる。 (知識・理解)	プリント
		2 内分点・外分点の位置ベクトルを理解する。	10	・ 公式の導き方を理解させる。 (表現・処理)	
		3 三角形の重心の位置ベクトルを考える。	10		
整 理	4 『比例分配』という観点で、応用問題を解く。	10	・ 1 つの公式が、他の分野にも応用できることを示す。 (見方・考え方)		
	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告を確認する。	5			
次 時 の 課 題	1 プリントを仕上げてくる。 2 教科書 p31 ~ 33 を予習する。				
備 考	(サイエンス・ヒューマニティーズ) コース 生徒数 39 名 (男子 15 名 , 女子 24 名)				